

記入例

耕畜連携助成における利用供給協定書

(目的)

第1条 わら生産・利用の取組

(実施の主体)

第2条 わらを生産する者、わらを利用する者は以下のとおりとする。

わらを生産する者：宇都宮 太郎
わらを収集する者：上河内 花子
わらを利用する者：上河内 花子

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、刈取り時期は別紙のとおりとする。

3年間以上の締結期間として下さい。

(協定締結期間)

第4条 3年 6月 1日から6年 5月 31までの3年間とする。

(役務と対価)

第5条 わら取引の条件（作業分担及び品代・経費の負担）

【例】・わら引取料として乙 ○○○○に ○○○○円を支払う。
・ロール作業の対価としてわらを無償で渡し、たい肥を利用する。

(その他)

第6条 協定の変更はその都度協議する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、各々1通保管することとする。

令和 3年 6月 1日

氏名、住所を記入し押印して下さい。

甲（わらを生産する者）

氏名：宇都宮 太郎

住所：宇都宮市○○町○○○○

宇都宮印

乙（わらを利用する者）

氏名：上河内 花子

住所：宇都宮市○○町○○○○

上河内印

記入例

耕畜連携助成における自家利用計画書

(目的)

第1条 わら生産・利用の取組

(実施の主体)

第2条 わらを生産する者、わらを利用する者は同一の者とする。

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、刈取り時期は別紙のとおりとする。

(協定締結期間)

3年間以上の締結期間として下さい。

第4条 3年 6月 1日から6年 5月 31までの3年間とする。

(その他)

第5条 協定の変更はその都度協議する。

以上、自家利用計画の証として、保管することとする。

令和3年 6月 1日

氏名、住所を記入し押印して下さい。

(わらを生産及び利用する者)

氏名 : 上河内 花子

住所 : 宇都宮市○○町○○○○



記入例

耕畜連携助成における利用供給協定書

(目的)

第1条 資源循環の取組

(実施の主体)

第2条 飼料作物を生産する者、たい肥を散布する者は以下のとおりとする。

飼料作物を生産する者：宇都宮 太郎

たい肥を散布する者：上河内 花子

(ほ場の場所)

第3条 ほ場の場所及び面積、たい肥の散布時期及び種類、量は別紙のとおりとする。

(協定締結期間)

第4条 3年 6月 1日から6年 5月 31までの3年間とする。

3年間以上の締結期間として下さい。

(役務と対価)

第5条 たい肥散布の条件（作業分担及び品代・経費の負担）

【例】・飼料作物として乙が ○○○○ に ○○○○ 円を支払う。

・収穫作業の対価として無償で渡し、たい肥を利用する。

(その他)

第6条 協定の変更はその都度協議する。

以上、協定締結の証として、本協定書2通を作成し、各々1通保管することとする。

氏名、住所を記入し押印して下さい。

令和 3年 6月 1日

甲（飼料作物を生産する者）

氏名：宇都宮 太郎

住所：宇都宮市○○町○○○○

宇都宮

乙（たい肥を散布する者）

氏名：上河内 花子

住所：宇都宮市○○町○○○○

上河内

・わらの生産・利用

世帯番号 12345

氏名

河内 太郎

水田所在地	実利用面積 (m ²)	作物名	刈取り時期	梱包時期
○○町1-1	5,000	飼料用米	○月○○日	○月○○日
○○町1-2	3,500	飼料用米	○月○○日	○月○○日
○○町1-3	2,000	飼料用米	○月○○日	○月○○日
計	10,500			

【わらの生産・利用】

わらが確実に飼料として利用され、かつ、その子実が飼料用又は種苗用として利用される稻の作付。

- ・ 圃場(水田)1枚すべてに作付され、他の作物が作付されていないこと。
- ・ 刈り取り時期は出穂期以降の時期であること。
- ・ 子実が主食用米等として流通しないよう適切な処理が講じられていること。

注)面積は必ずm²単位で記載すること。

・資源循環の取組

世帯番号 12345

氏名

河内 太郎

水田所在地	実利用面積 (m ²)	作物名	たい肥の種類	たい肥の 散布時期	散布する量 (kg)
○○町1-1	5,000	WCS用稻	牛糞たい肥		
○○町1-2	3,500	イタリアンライグラス	牛糞たい肥		
○○町1-3	2,000	ソルガム	牛糞たい肥		
計	10,500				

注)面積は必ずm²単位で記載すること。